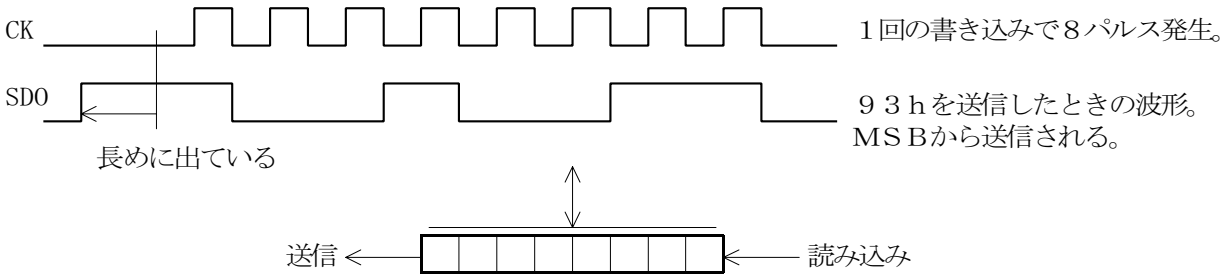
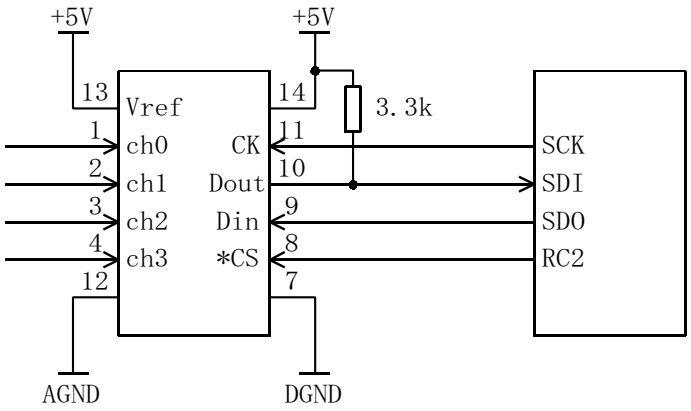
ＳＰＩとMCＰ３２０４の使い方

ＰＩＣ１６Ｆ８７７からＳＰＩインターフェイスで信号を発生させる。

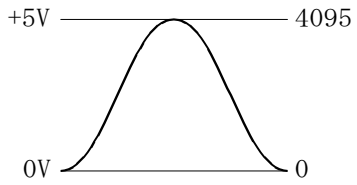
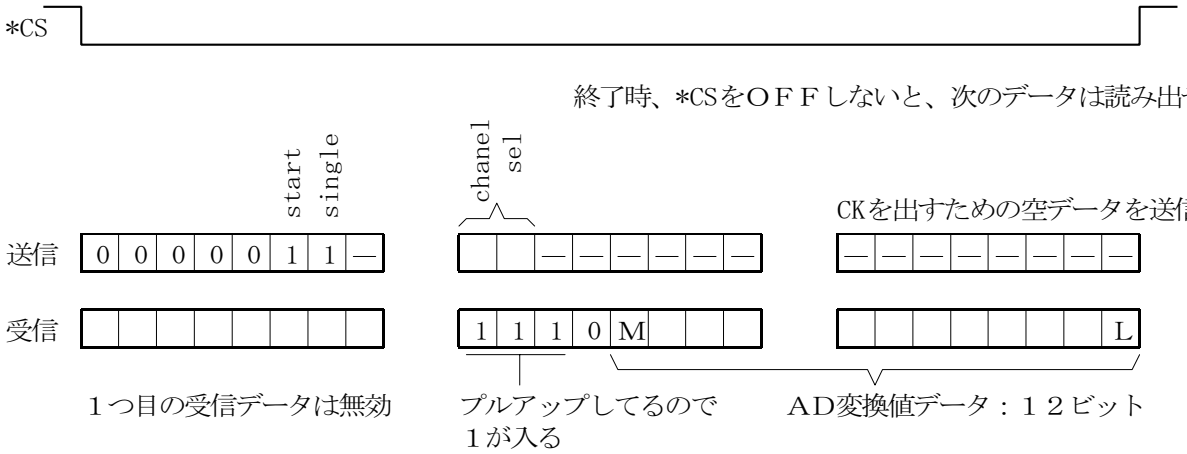


ＳＰＩインターフェイスは基本的にシフトレジスタであり、クロックで転送が制御される。　８ビットの送信が完了したとき、同時に８ビットの読み込みも完了しており、PIR1のSSPIFが上がる。（ビットクリアで０に戻る）
SSPSTATのBFが要因だが、バンクの切替えが必要なSSPSTATより、PIR1の方が参照しやすい。

● ＭＣＰ３２０４のデータの読み出し



フルスイングのアナログ入力に対応するため
Vrefは５Ｖ



ＭＣＰ３２０４は100kspsで動作できるが
１６Ｆ８７７のＳＰＩの速度は20MHz/16=
1.25Mbpsとなり、１回のシーケンスに
22.4μｓかかる。